



人と、地域と、未来をむすぶ

十六銀行

十六アジアレポート 2025 年 9 月号

JUROKU ASIA REPORT SEPTEMBER 2025

2025 年 9 月 1 日 発行 十六銀行 ソリューション営業部 海外サポート室

目 次

1. シンガポール:「関税ショックの先に見えた光 ～シンガポールの現在地～」

シンガポール駐在員事務所 高井昌彦

2. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

1. シンガポール:「関税ショックの先に見えた光

～シンガポールの現在地～

シンガポール駐在員事務所 高井昌彦

米国による一方的な関税導入、いわゆる「トランプ関税」は、自由貿易を前提として築かれてきたサプライチェーンに大きな衝撃を与えました。物流や生産体制の見直しが迫られ、世界経済への影響が懸念されています。貿易立国であるシンガポールも、その影響を免れることはできません。同国政府はGDP 成長率見通しを 1.0～3.0%から 0.0～2.0%へと下方修正し、一部では、経済全体の停滞や「東南アジアのハブ国家」としての地位低下を懸念する声も聞かれました。

しかし、実際に現地で暮らし、日系・非日系を問わず多くの企業の動向を間近で見ていると、そこから感じられるのは「停滞」ではなく、むしろ「適応」の動きです。今回は、変化の時代に柔軟に対応する、シンガポールの姿をお届けします。

【オープンイノベーションが育む新しい経済】

こうした変化を牽引しているのが、政府主導で進められているデジタル・トランスフォーメーション (DX) です。シンガポールは「Smart Nation」構想を掲げ、AI、フィンテック、ヘルスケア、バイオテックといった次世代産業への戦略的投資を加速させています。国立研究機関と民間企業が協働する実証実験や、アジア市場向けのテストマーケティングが盛んに行われるようになり、まさに「実験都市」としての色合いを強めています。

例えば、自社単独ではリスクが大きく、スピード感ある推進が難しい新規事業や研究開発を、シンガポールのスタートアップや大学との連携を通じて推進する「オープンイノベーション」が注目を集めています。この潮流は、日本企業にとっても協業の可能性を広げるものと言え、実際に、日系企業、日本の自治体や大学が、シンガポールのアクセラレータープログラムに参加し、有望な技術を持つベンチャー企業との協業を模索する動きが見られます。

シンガポールは、今、「新たな価値を共同で創造できる場」として、アジアのビジネス界から注目を集めています。

【ASEAN のゲートウェイ】

米中対立や保護主義の台頭により、多くの企業がグローバル戦略の見直しを迫られる中、シンガポールの「地政学的安定性」と「政治、制度的信頼性」が評価されています。行政手続きや法務対応が英語で行えることによる利便性に加え、国際基準に沿った透明性の高い制度設計や、日本企業が適応しやすい法務・税務環境といった強みは健在であり、ビジネス拠点としての優位性は揺らいでいません。

現地企業が、シンガポールを起点に東南アジア全域への事業展開を積極的に進めていることも見逃せませ



【写真】シンガポールの変革や先進性の象徴の一つ、マリーナベイを望むビジネス街



【写真】東南アジアにおける重要なハブ空港「チャンギ空港」に隣接する、自然がテーマの複合施設「ジュエル」

ん。高成長を続けるインドネシアやベトナムなどへのアクセスを考える際、シンガポールに拠点を置くことは、合理的な選択肢の一つであると考えられます。また日系企業にとっても、「東南アジアの玄関口」としてのシンガポールの役割は、引き続き重要性を有しているものと考えられます。

【脱炭素社会を先導する環境先進都市】

シンガポールは、経済面だけでなく環境政策においても、アジアをリードする存在となりつつあります。

2021 年に立ち上げられたカーボンクレジットの国際取引市場「Climate Impact X」は、環境保全を重視した官民連携による自主的カーボンクレジット取引市場であり、企業のカーボンオフセットを支援する透明性の高い革新的なプラットフォームとして世界から注目を集めています。また、建築分野では、グリーン建築の基準化・義務化を推進し、エネルギー効率の高い都市設計が進んでいます。

これらは単なる環境対策ではなく、企業競争力を高める「ESG 戦略」として機能しています。日本企業にとってシンガポールは、環境技術や省エネソリューションを提供できる市場として、また自社のサステナビリティ戦略を実践し発信する場として認識され始めています。シンガポールは、経済面だけでなく環境政策においても、アジアをリードする存在となりつつあります。



【写真】環境先進都市として、グリーンテック分野でもアジアをリードする

【おわりに】

米中摩擦や米国の通商政策に象徴されるように、世界経済を取り巻く環境は不安定さを増しています。しかし、このような状況にあっても、「いかに事業を設計し、どの市場で成長戦略を追求すべきか」は、企業経営における重要なテーマであることに変わりはありません。これまで述べてきた、シンガポールが有する「柔軟性」「安定性」、そして東南アジアへの「接続性」といった強みは、変化の時代において、あらためてその重要性が注目されるべき資質であると考えます。

2. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位: 1 人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月28日	20.66073	7月29日	20.73613	7月30日	20.73054	7月31日	20.83030	8月1日	21.01988
8月4日	20.58630	8月5日	20.53009	8月6日	20.62281	8月7日	20.58079	8月8日	20.53346
8月11日	20.62068	8月12日	20.68637	8月13日	20.65860	8月14日	20.57528	8月15日	20.65134
8月18日	20.59181	8月19日	20.66500	8月20日	20.63004	8月21日	20.60369	8月22日	20.73355



上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。

そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1ドル当たりの日本円)

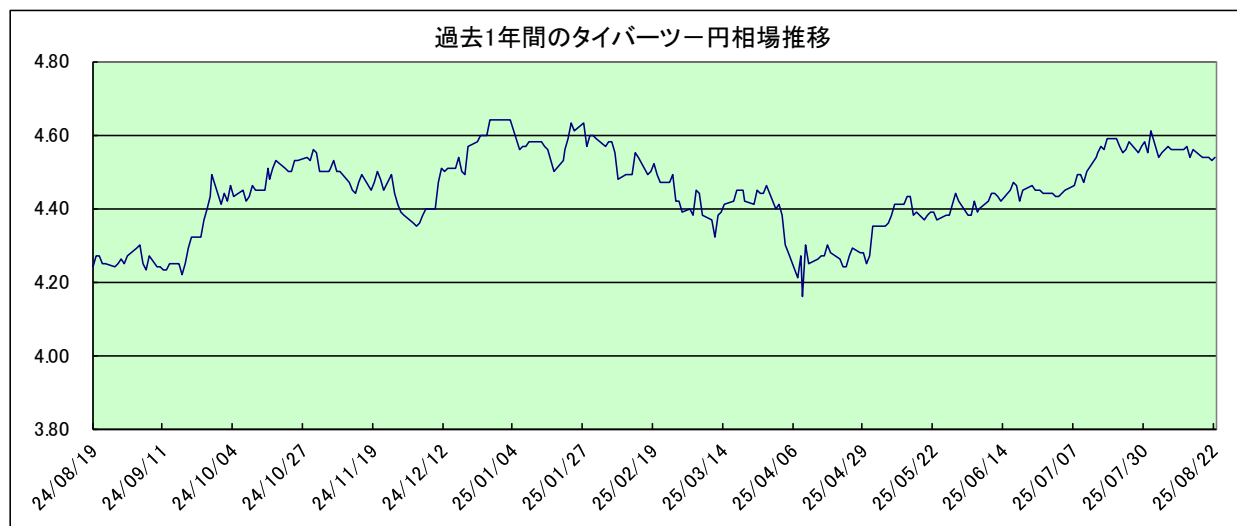
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月28日	147.77	7月29日	148.54	7月30日	148.25	7月31日	149.39	8月1日	150.79
8月4日	147.64	8月5日	146.98	8月6日	147.63	8月7日	147.67	8月8日	147.26
8月11日	-	8月12日	148.46	8月13日	147.84	8月14日	146.69	8月15日	147.66
8月18日	147.50	8月19日	147.90	8月20日	147.73	8月21日	147.50	8月22日	148.53



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1バーツ当たりの日本円)

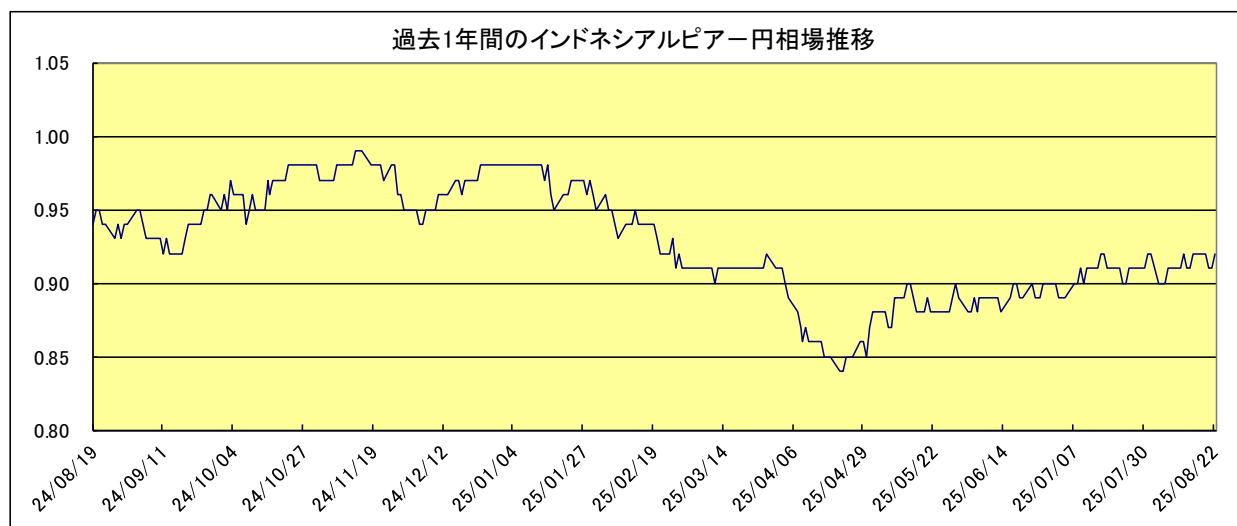
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月28日	4.5500	7月29日	4.5700	7月30日	4.5800	7月31日	4.5500	8月1日	4.6100
8月4日	4.5400	8月5日	4.5500	8月6日	4.5600	8月7日	4.5700	8月8日	4.5600
8月11日	-	8月12日	4.5600	8月13日	4.5700	8月14日	4.5400	8月15日	4.5600
8月18日	4.5400	8月19日	4.5400	8月20日	4.5400	8月21日	4.5300	8月22日	4.5400



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100ルピア当たりの日本円)

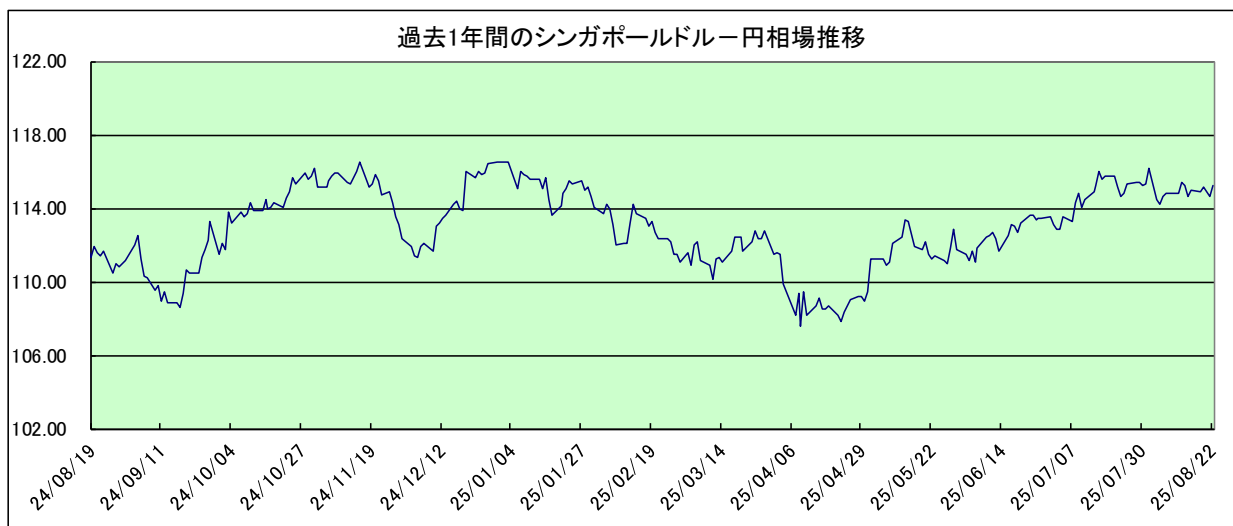
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月28日	0.9100	7月29日	0.9100	7月30日	0.9100	7月31日	0.9200	8月1日	0.9200
8月4日	0.9000	8月5日	0.9000	8月6日	0.9000	8月7日	0.9100	8月8日	0.9100
8月11日	-	8月12日	0.9200	8月13日	0.9100	8月14日	0.9100	8月15日	0.9200
8月18日	0.9200	8月19日	0.9200	8月20日	0.9100	8月21日	0.9100	8月22日	0.9200



(5) シンガポールドル＝円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月28日	115.4100	7月29日	115.4200	7月30日	115.2400	7月31日	115.3200	8月1日	116.1700
8月4日	114.5000	8月5日	114.1900	8月6日	114.6600	8月7日	114.8200	8月8日	114.7800
8月11日	-	8月12日	115.3900	8月13日	115.2100	8月14日	114.6600	8月15日	114.9600
8月18日	114.9300	8月19日	115.1200	8月20日	114.9000	8月21日	114.6800	8月22日	115.2500



(6) ベトナムドン＝円為替相場(参考値)

(単位:1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
7月28日	5.6500	7月29日	5.6700	7月30日	5.6500	7月31日	5.6900	8月1日	5.7500
8月4日	5.6300	8月5日	5.6100	8月6日	5.6200	8月7日	5.6200	8月8日	5.6100
8月11日	-	8月12日	5.6500	8月13日	5.6200	8月14日	5.5700	8月15日	5.6100
8月18日	5.6100	8月19日	5.6200	8月20日	5.6100	8月21日	5.5800	8月22日	5.6100

